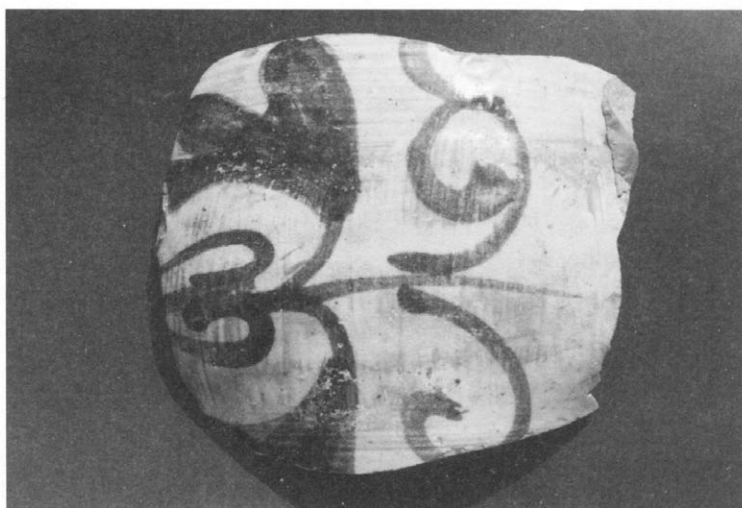


金沢大学資料館だより

No.18 Nov. 22 2001



李朝鉄絵壺（暁烏コレクション「朝鮮陶器標本」）

--目次--

朝鮮半島出土高麗・李朝・中国の陶磁器	…2
金沢大学資料館利用要項	…6
展示室から	…7
資料館彙報	…8

朝鮮半島出土高麗・李朝・中国の陶磁器

佐々木 達夫

金沢大学資料館には暁烏敏氏が寄贈された陶磁器コレクションが753点ある。その中に、朝鮮半島で出土した高麗・李朝・中国の陶磁器破片が43点ある。李王職庶務課長末松熊彦氏が暁烏氏に高麗陶磁標本として贈呈した品であることが、残された名刺の記載からわかる。また、別の紙には「大正四年 全羅南道康津郡大口面堂前里」と記載されることから、これらの資料の採集地が推定できる。43点の資料は高麗・李朝の陶磁器と中国の白磁・青磁が混じる。高麗陶磁器は施釉前の資料も混じり、窯跡出土品の可能性も高い。中国陶磁器も朝鮮半島で出土したことはほぼ疑いが無く、全羅南道で出土した可能性が高いものである。窯跡出土の高麗・李朝陶磁器は産地推定の基準資料として利用できる可能性があり、中国陶磁器は朝鮮半島から出土する中国陶磁の実体を伝える資料として利用できる。暁烏敏氏は大正15年末から昭和4年にかけて、インド、ヨーロッパ、朝鮮、アメリカを歴訪した。昭和3年8月末から11月初旬には朝鮮を訪れ、各地で講演をしている。しかし、金沢大学附属図書館蔵の当時の日記帳には、陶磁器に関する記述が見あたらない。資料が入っていた箱蓋に箱書きがあり、以下の記載がある。

表面「李王博物館々長・・・(人名)。朝鮮陶器標本。敏書」裏面「昭和三年九月 京城にて 末松熊彦氏より頂く 朝鮮陶器標本四十三片 敏」なお、当時の『職員録』をみると、宮内省：李王職：末松熊彦と記載がある。

資料 (KM01-45)

(かっこ内は陶磁器に貼られた紙に記載されていたもの。○印は金沢大学で実施した素地(胎土)分析資料。素地(胎土)分析の報告は今回載せていない。)

- 1 高麗象嵌青磁碗(雲鳳紋象嵌青磁碗) ○
- 2 高麗象嵌青磁碗(狂言袴筒茶碗) ○
- 3 高麗象嵌青磁壺(雲龍紋象嵌青磁)
- 4 高麗象嵌青磁碗
- 5 高麗象嵌青磁碗○
- 6 高麗象嵌素焼八角小鉢○
- 7 高麗象嵌素焼碗(菊紋象嵌青磁素焼(焼過)皿)
- 8 高麗象嵌素焼碗(雲鶴紋象嵌青磁素焼碗)○
- 9 高麗象嵌素焼碗
- 10 高麗型紋青磁皿○
- 11 高麗型紋青磁皿(雲葉紋陽刻青碗)
- 12 高麗型紋青磁皿
- 13 高麗型紋青磁碗(人形手陽刻青磁碗)
- 14 高麗型紋素焼碗(唐草陽刻青磁素焼碗(焼過))○
- 15 高麗刻線文青磁瓶(蓮花彫刻瓶)
- 16 高麗刻線文青磁皿(雲鳳紋陰刻青磁碗)
- 17 高麗刻線文青磁碗○
- 18 高麗刻線文青磁鉢
- 19 高麗刻線文青磁碗?
- 20 高麗刻線文青磁皿(蓮花彫刻青磁窯変碗)
- 21 高麗刻線文素焼枕(雲葉紋青磁素焼(適度)枕)○
- 22 高麗無文青磁碗(無地青磁碗)○
- 23 高麗無文青磁碗○
- 24 高麗無文青磁皿(無地青磁皿)
- 25 高麗鉄絵青磁瓶(繪高麗瓶)○
- 26 李朝象嵌皿(高靈郡三島曆手皿)
- 27 李朝象嵌皿○
- 28 李朝象嵌皿(花三(島)□)
- 29 李朝象嵌碗
- 30 李朝象嵌碗
- 31 李朝象嵌碗
- 32 李朝象嵌碗(花三嶋(窯変)碗)
- 33 李朝鉄絵壺○
- 34 李朝鉄絵壺
- 35 李朝鉄絵壺
- 36 中国青磁碗
- 37 中国青磁碗
- 38 中国青磁碗
- 39 中国青磁碗
- 40 中国青磁碗
- 41 中国白磁碗
- 42 中国白磁碗
- 43 黒釉瓶
- 44 黒釉瓶
- 45 内面青磁・外面黒釉碗?

(文学部考古学)

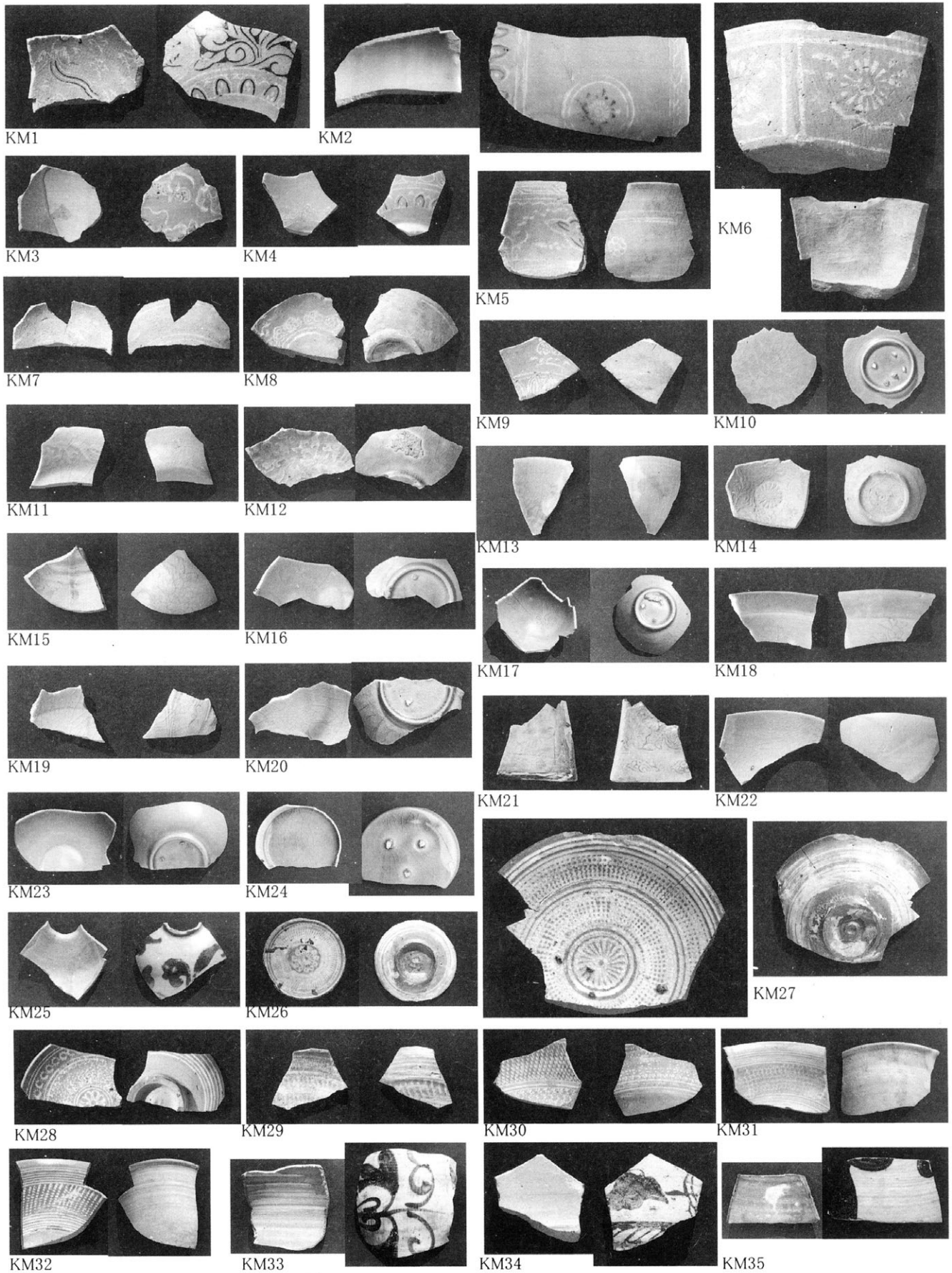


図1 金沢大学資料館蔵朝鮮半島出土高麗・李朝・中国の陶磁器

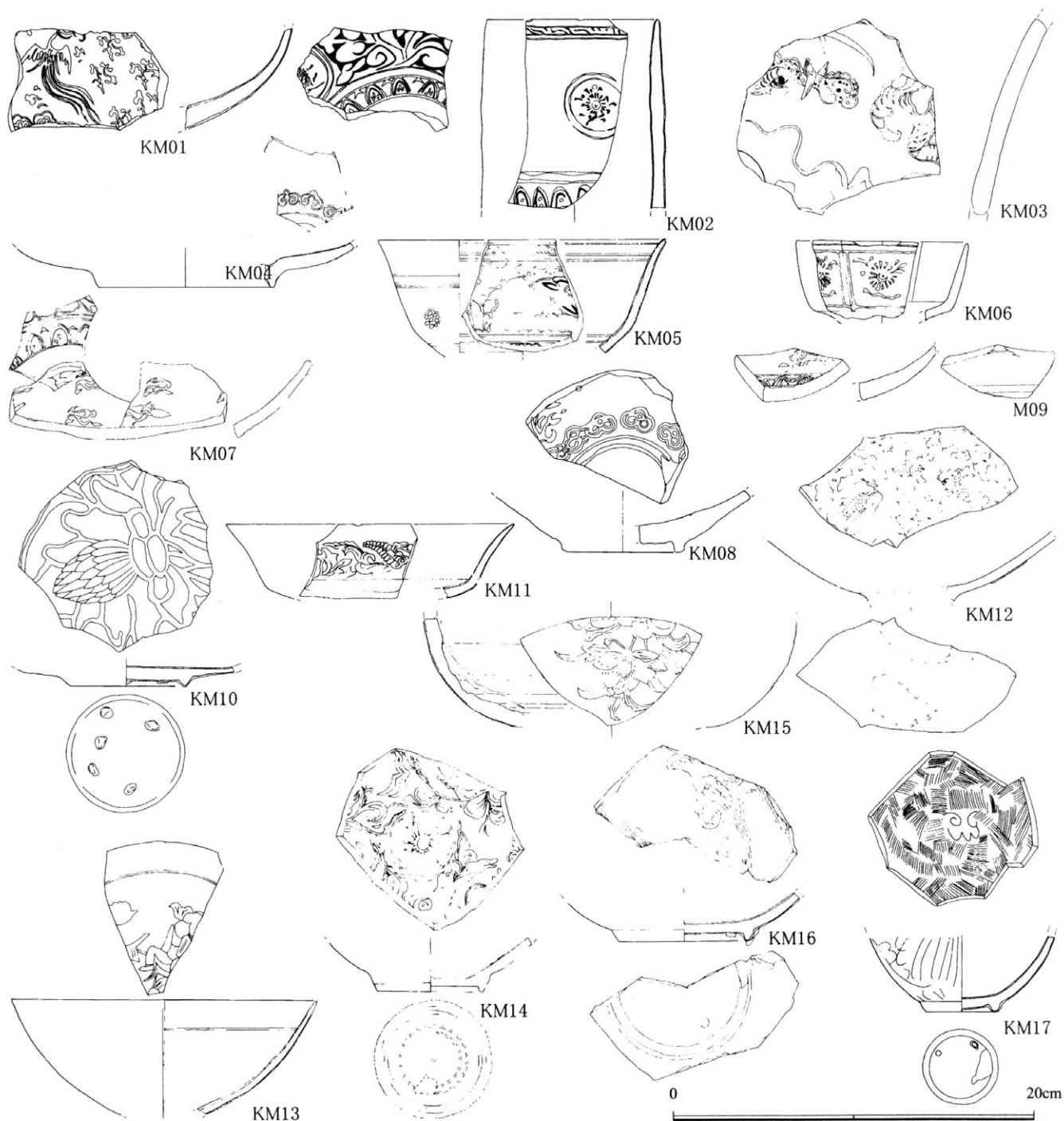
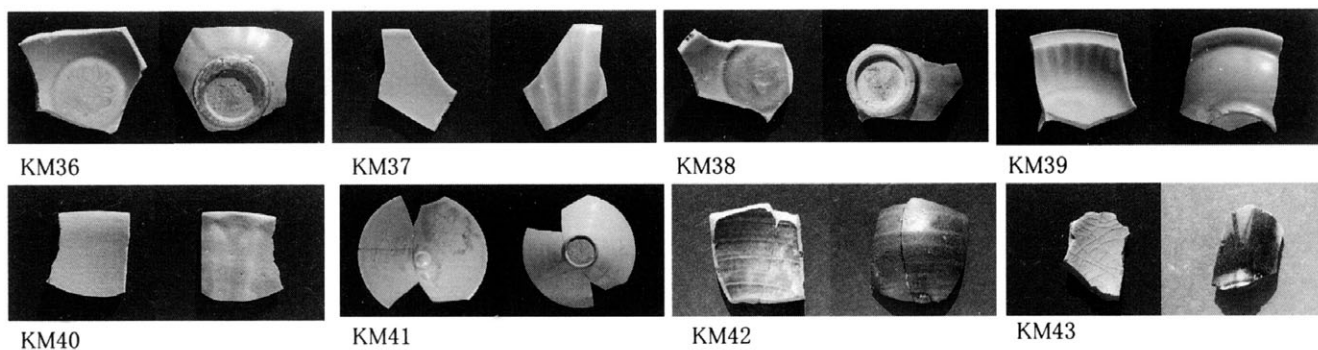


図2 金沢大学資料館蔵朝鮮半島出土の高麗・李朝・中国の陶磁器



図3 金沢大学資料館蔵朝鮮半島出土高麗・李朝・中国の陶磁器

金沢大学資料館利用要項

平成13年3月15日制定

(趣旨)

1 この要項は、金沢大学資料館規程第17条の規定に基づき、金沢大学資料館(以下「資料館」という。)が所蔵する資料(以下「資料」という。)の利用に関し、必要な事項を定める。

(利用者)

2 資料館を利用することができる者は、本学の名誉教授、教職員及び学生並びに一般の者とする。

(規定等の閲覧)

3 資料館は、資料館規程及び本利用要項並びに資料を整理・分類した目録を常備し閲覧に供するものとする。

(休館日)

4 資料館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 日曜日及び土曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)

(4) 本学開学記念日

5 金沢大学資料館長(以下「館長」という。)が必要と認めた場合は、前項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に定めることができる。

(利用の方法)

6 資料館の利用の方法は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 展示

(2) 閲覧

(3) 情報の提供

(4) 撮影及び複写

(5) 貸出

(展示)

7 資料館の資料は、館内の施設に展示し、観覧に供する。

(閲覧)

8 文書資料の閲覧は、調査研究を目的とする者に限り利用できるものとし、別紙閲覧申込書により事前に館長の許可を受けてから、資料館内の所定の場所で行うものとする。ただし、閲覧の場所は、本学の名誉教授、教職員及び学生についてはこの限りでない。

(閲覧の制限)

9 館長は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる範囲内で、当該資料について利用を制限することができる。

(1) 当該資料に行政機関の保有する情報の公開に関する法律(平成11年法律第42号)(以下「法」という。)第5条第1号から第3号までに掲げる情報が記録されていると認められる場合で、館長が当該資料(当該情報が記録されている部分に限る。)について利用を制限しているもの。

(2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は法第5条第2号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合で、当該期間が経過するまでの間、館長が、当該資料の全部又は一部について利用を制限しているもの。

(3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該原本が現に使用されている場合で、館長が当該原本について利用の方法又は期間を制限しているもの。

(情報の提供)

10 利用者は、調査研究上必要とする関係資料等について情報の提供を依頼することができる。ただし、資料の破損若しくは汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合には、館長は情報の提供を制限することができる。

(撮影及び複写)

11 資料の撮影及び複写は、調査研究を目的とする者の場合に限り利用できるものとし、別紙撮影及び複写申込書により事前に館長の許可を受けてから、資料館内の所定の場所で行うものとする。ただし、撮影及び複写の場所は、館長が必要と認めた場合はこの限りでない。

(貸出)

12 貸出は、他機関からの依頼があった場合に限り行うものとし、別紙借用申込書により事前に館長の許可を受けるものとする。

(弁償責任)

13 利用者が、資料を破損、汚損又は紛失した場合は、これを弁償しなければならない。

(雑則)

14 この要項に定めるもののほか、資料の利用に関し必要な事項は、資料館委員会の議を経て館長が定める。

附 則

この要項は、平成13年4月1日から施行する。

展示室から

★新入生向け館蔵品展「金沢大学資料館へようこそ」を4月9日(月)から20日(金)まで(土日を除く)開催した。期間中、259人(うち学生235人)の入館者があった。

★平成13年度資料館特別展「金沢大学と金沢城」を11月1日(木)から16日(金)まで(土日祝を除く)開催した。金沢大学は昭和24年(1949)の創設から平成8年(1996)の移転まで金沢城跡をキャンパスの一部とし、お城の中の大学と親しまれた。この地に関わる歴史を本学との関わりを示しながら紹介した。

本丸跡にあった中世のものといわれる石塔の一部、金沢大学金沢城学術調査委員会により昭和43年・44年(1968・69)に実施された発掘調査の出土資料、附属図書館蔵の金沢城絵図、陸軍が駐屯した戦前の建物配置図、大学創設期のキャンパスの様子等を展示した。入館者は125名(うち学外は29名)である。

会期中11月2日に附属図書館AV室で石川県立歴史博物館長吉岡康暢氏により「金沢城跡調査の成果と課題」と題して、平成13年度資料館公開講演会を開催した。参加者は31名(うち学外は2名)である。

★「四高開学115年祭 角間キャンパス見学ツアー」の一環として、10月20日(土)資料館展示室に第四高等学校OB約120名をお迎えした。



四高OBでにぎわう展示室(中央笠井館長)



資料館彙報(平成13年2月～11月)

- 2月20日 中華人民共和国 江蘇省大学間友好交流訪日団
長他来館
- 2月21日 中華人民共和国 江蘇省大学館友好交流訪日団
員来館
- 2月28日 資料館委員会(平成12年度第5回)を開催
- 3月1日 『資料館だより』No.17発行
- 3月12日 資料館委員会(平成12年度第6回)(書面付議)
を開催
- 3月15日 フラッシュイム夫妻及びアメリカ合衆国ペン
シルバニア大学評議会議員来館
- 3月30日 ・『金沢大学資料館紀要』第2号発行
・石川県立歴史博物館へ須恵質人物埴輪の貸
出を更新
- 4月1日 ・笠井純一資料館長就任
・金沢大学資料館利用要項施行
- 4月9日 ・図書館オリエンテーション(資料館紹介パン
フレットを学部新入生全員に配布)
・平成13年度金沢大学新規採用者研修生来館
- 4月9日 平成13年度金沢大学資料館特別展
～20日「金沢大学資料館へようこそ」
- 4月25日 インドネシア共和国アンダラス大学長他来館
- 4月27日 平成13年度文学部博物館実習(実習生は「一
～9月25日 乗谷朝倉氏遺跡井上鋭夫教授収集資料」,
「金沢城址遺物」の資料整理)
- 5月8日 ・資料館委員会(平成13年度第1回)を開催
・山梨学院大学附属高等学校生徒来館
- 5月29日 国立六大学学長会議参加者来館
- 5月31日 「一乗谷朝倉氏遺跡井上鋭夫教授収集資料」
目録完成
- 6月4日 イスラエル イェルサレム・ヘブライ大学準教
授ハラリー氏来館
- 6月15日 平成13年度教養科目「大学博物館への招待
—自ら学ぶ図書資料を楽しむ—」「金沢大学資
料館への招待」と題し図書館にて資料館長が義
を行う。
- 6月28日 石川県文化振興課学芸主査濱岡伸也氏金沢城
関係資料の調査協力のため来訪
- 7月3日 富山県立石動高等学校PTA来館
- 7月5日 富山県立高岡西高等学校生徒来館
- 7月6日 富山県立福岡高等学校生徒来館
- 7月12日 遊学館高等学校生徒来館
- 7月19日 中華人民共和国 大連大学副校長他来館
- 7月23日 資料館委員会(平成13年度第2回)を開催
- 7月25日 北陸三県高等学校長等と金沢大学との入試懇
談会高等学校校長来館
- 8月1日 open campus, 高校生が展示室を見学
- 8月21日 石川県知事に学長, 事務局長, 資料館長会见
「大学博物館設置」への協力を求めた
- 8月23日 学術資料(標本)把握のための調査票配布
- 9月7日 資料館委員会(平成13年度第3回)を開催
- 10月1日 中華人民共和国 蘇州大学副校長他来館
- 10月2日 ・新潟県立新潟南高等学校PTA来館
・平成13年度金沢大学新規採用者研修生来館
- 10月4日 石川県立錦丘高校生徒来館
- 10月5日 金沢大学健寿会来館
- 10月17日 滋賀県立彦根東高校PTA来館
- 10月20日 「四高開学115年祭」にて四高同窓生来館
- 11月1日 平成13年度金沢大学資料館特別展
～16日「金沢大学と金沢城」
- 11月2日 平成13年度金沢大学資料館公開講演会
「金沢城跡調査の成果と課題」

金沢大学資料館だより 第18号

館長 笠井 純一(文学部教授)

館員 在田 則子

館員 田嶋 万希子

〒920-1192 金沢市角間町(附属図書館内)
金沢大学資料館
Tel (076)264-5215 Fax (076)234-4051
E-mail museum@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

発行日 平成13年11月22日
編集発行 金沢大学資料館
印刷 田中昭文堂印刷株式会社